

地域の活性化による人材育成と三保に愛着をもつ子どもたちの育成

公民館名	三保公民館	人口（令和2年12月）	1,643人
		世帯数（ 〃 ）	798戸

1 公民館で力を入れてきたこと、これからも続けたいこと

平成11年新築開館から地域住民に愛される魅力ある公民館を目指し、サークル活動の立ち上げと地域の特色・人材を活かした事業や子ども支援事業「きらめき！子ども体験教室」を中心に、各種団体と連携しながら地域間の交流を深めてきた。

少子高齢化が進む中、事業を継続してきたが、今後はさらに若者や子どもたちを巻き込みながら、愛着が持てる地域づくり、拠点づくりに取り組みたい。

2 特色ある活動や行事・取組等の実践事例

(1) 暮らしに活かそう石州和紙 → 石州和紙灯ろうまつり

地元特産である石州和紙の良さを知り関心を深めるため、平成15年から紙漉き体験や障子はり・大おろち・ランチョンマット・絵手紙・灯り作り、さらに石州和紙をニカワや草木染め染料で加工した作品作りなどへと体験の場を広げ、やがて灯ろう制作活動、「石州和紙灯ろうまつり」事業へとつながり多くの方々を巻き込み8年目を迎えました。



「紙漉き体験」



「かざらと和紙の灯り作り」



「灯ろう作りと精霊流し」



事業の度に「楽しかった」「友だちと仲良くやれました」「地域の方がやさしかった」「またやりたい」など、子どもたちが感想を書いてくれました。

小学校や公民館・三隅川河口会場を中心に、子どもたちや地域住民を対象に灯ろう作り。「石州和紙灯ろう作り」は58年や過去の災害を教訓に、大災害が二度と起こらないことを願い、後世に伝えること、自主防災組織の確立、地域が安心して暮らせる機会を作ることを目的に開催を始めました。

(2) 子ども支援事業

「きらめき！子ども体験教室」…特徴は活動の中に必ず人権アニメ視聴を組み込むことです

この教室は平成13年に「子どもの活動の場を作ろう」「地域で子どもたちを育てよう」という2本柱で発足し現在に至っています。継続は力なり…地域の方をはじめ、国際交流員や民生児童委員さんともつながり、三隅小児童クラブ、乳幼児親子から保育園児という幅広い世代を対象に交流事業を行ってきました。今後は、さらに「はまだっ子共育推進事業」へと継承し地域の活性化につなげていきます。



「餅つき交流会」



「ニュースポーツ体験」



「なかよしクッキング」



「海辺であそぼう」